

【専門基礎分野】

科目名	解剖生理学 I (細胞・組織、消化・吸収、 代謝、内分泌)	講 師 名	非常勤講師	学 年	1	履 修 期	第1学期
単 位	1単位						
時間数	30時間 (内15時間)						
授業概要	細胞はすべての生物の構造と機能の基本単位であり、われわれヒトが示す複雑な生命現象も、人体を構成する様々な細胞の活動の集積にほかならない。人体を構成する細胞は、30兆とも60兆ともいわれる。これら莫大な数の細胞は、それぞれ組織・器官・器官系を構築し、互いに連携しながら生命活動の一端を担っている。						
授業科目目標	1. 解剖生理学の基礎として身体を構成する細胞について基礎知識が習得できる。						
授業計画	<p>1回：生体の階層性</p> <p>2回：生体を構成する分子：単糖，アミノ酸、ヌクレオチド、脂肪酸とその重合体</p> <p>3回：細胞の一般的な構造：細胞小器官と細胞骨格</p> <p>4回：核のはたらきと遺伝</p> <p>5回：遺伝の仕組み</p> <p>6回：組織各論</p> <p>7回：体液総論</p> <p>8回：終了試験</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能[1] 解剖生理学, 医学書院.						
参考書	1. 美田誠二：からだのしくみが目で見てわかる 得意になる解剖生理, 照林社.						
学生へのメッセージ	講義内容の質問は講義中に行うこと。 復習で疑問点が出てきたときは、次回の講義の始めに質問すること。						

【専門基礎分野】

科目名	解剖生理学 I (細胞・組織、消化・吸収、 代謝、内分泌)	講師名	専任教員 (6) 岡山医療センター医師 A(2) 岡山医療センター医師 B(2) 岡山医療センター医師 C(5)	学	1	履 修 期	第 1 学期
単 位	1 単位		年				
時間数	30 時間 (内 15 時間)						
講師実務経験	専任教員：看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	身体の構造と機能を系統的に理解し、また、生命維持のメカニズムに関連した生理機能と構造との関連性を学ぶ。						
授業科目目標	1. 人体の消化吸収、代謝、内分泌のしくみと機能について理解できる。						
授業計画	<p>1～3回：消化器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 口・咽頭・食道の構造と機能 2) 腹部消化管（胃・小腸・大腸）の構造と機能 3) 栄養素の消化と吸収 4) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 5) 腹膜 <p>4～7回：内分泌系・代謝系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自律神経による調節 2) 内分泌系による調節 3) 全身の内分泌腺と内分泌細胞 視床下部 - 下垂体系、副腎、膵臓 4) ホルモン分泌の調節 5) ホルモンによる調節の実際 6) 甲状腺と副甲状腺 <p>8回：終了試験</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能[1] 解剖生理学, 医学書院.						
参考書	1. 美田誠二：からだのしくみが目で見てわかる 得意になる解剖生理, 照林社.						
学生への メッセージ	人々の生活を支える看護を実践するためには、人体の知識が不可欠です。看護学生にとって人体の構造と機能を理解する上で、解剖学・生理学の学習は大変重要です。日々の予習、復習をしっかりとって講義に臨んでください。						